

序章 立地適正化計画制度の概要	1
1. 策定の趣旨	1
2. 立地適正化計画の位置づけ	2
3. 計画の目標期間	2
4. 立地適正化計画の概要	3
5. S D G s（持続可能な開発目標）との関係	5
第Ⅰ章 那珂市の概況	7
1. 位置と地勢	7
2. 人口と世帯数	8
3. 都市計画	12
4. 施設立地状況	20
5. 交通	28
6. 災害	32
7. 財政	35
8. 公共施設等の現況及び将来の見通し(那珂市公共施設等マネジメント計画)	37
第Ⅱ章 都市構造検討に向けた前提条件	39
Ⅱ－1 人口構造の変化による影響	39
1. 人口減少と高齢化による影響	39
2. 世帯構造の変化による影響	41
3. 生活の場やライフスタイルの変化に伴う市街地への影響	42
Ⅱ－2 那珂市の市街化区域の特性	43
第Ⅲ章 まちづくり分野における潮流	47
Ⅲ－1 都市を巡る変化要因	47
Ⅲ－2 都市を巡る環境の変化	48
1. 人口構造の変化	48
2. 情報技術の進展	48
3. 働き方や暮らし方の変化	48

4. 市街地密度の低下	49
5. 都市のインフラや都市空間に関する変化	49
6. 災害リスクの高まり	49
第IV章 立地適正化計画策定にあたっての課題	51
第V章 那珂市の都市活動の状況	53
V-1 那珂市民の生活圏	53
1. 商圈	53
2. 余暇圏	57
3. 医療圏	59
4. デマンドタクシーの利用状況からみた生活行動	60
V-2 建築着工動向及び市内転居の状況	64
1. 建築着工動向	64
2. 市外からの転入の状況	65
3. 市内転居の状況	66
V-3 各種サービス圏域の考え方	70
1. 生活行動圏の考え方	70
2. 市街化調整区域における生活利便機能確保の考え方	71
第VI章 まちづくりの基本方針と目指すべき都市構造	73
VI-1 まちづくりの基本方針	73
1. 那珂市全体のまちづくりの基本方針	73
2. 菅谷市街地と瓜連市街地のまちづくりの基本方針	74
VI-2 都市構造の基本的な考え方	75
1. 那珂市全体の都市構造	75
2. 市街化区域の都市構造	76
VI-3 拠点とネットワークの考え方	78
1. 那珂市全体での拠点とネットワーク	78
2. 菅谷地区の拠点とネットワーク	80
3. 瓜連地区の拠点とネットワーク	82

第Ⅶ章 誘導区域の設定	85
Ⅶ－1 居住誘導区域	85
1. 居住誘導区域設定の考え方	85
2. 居住誘導区域の設定	86
Ⅶ－2 都市機能誘導区域	91
1. 都市機能誘導区域設定の考え方	91
2. 都市機能誘導区域が担う機能	92
3. 都市機能誘導区域の設定	93
4. 誘導施設の設定	99
第Ⅷ章 誘導施策	103
第Ⅸ章 評価指標の設定と計画管理	107
1. 立地適正化計画の指標の設定	107
2. 立地適正化計画の管理	110
第Ⅹ章 防災指針	111
1. 居住誘導区域等における災害リスク分析	111
2. 大規模盛土造成地の調査状況	114
3. 防災まちづくりの取組方針	114
4. 具体的な取組	114
第Ⅺ章 市街化調整区域及び居住誘導区域外の考え方	117

資料編	119
1. 計画策定の検討の経過	119
2. 那珂市立地適正化計画策定体制	120
3. 那珂市立地適正化計画有識者会議設置要項	121
4. 那珂市立地適正化計画検討委員会設置要項	122
5. 那珂市立地適正化計画有識者会議 委員名簿	123
6. 那珂市立地適正化計画検討委員会 委員名簿	124
7. 那珂市立地適正化計画検討委員会 部会名簿	125
8. 指標設定の考え方	126
9. 那珂市立地適正化計画の作成について（諮問）	128
10. 那珂市立地適正化計画の作成について（答申）	129